

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：UltraRainbow Fluorescent Particles-FluP
製品番号：URFP-30-2（メーカー略号：SPI）
構成品名：UltraRainbow Fluorescent Particles-FluP
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品情報部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

注意書き

安全対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

応急措置

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

有害性

この製品の毒物学的性質は完全には調査されていない。
吸入や接触により皮膚、眼、呼吸器系に刺激のおそれがある。
飲み込むと有害のおそれがある。
環境に有害のおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量(%)	CAS RN [®]	官報公示整理番号
アジ化ナトリウム	0.02	26628-22-8	1-482
ポリスチレン(有機染料染色ビーズ)	0.02	9003-53-6	6-120
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	0.01	9016-45-9	7-172

上記以外の成分：Water(CAS RN[®]:7732-18-5)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。皮膚を多量の流水/シャワーで洗うこと。
医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で10分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識がある場合、多量の水を飲ませる。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧または泡消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

乾燥すると可燃性固体を生成する。火災のとき黒煙が発生するおそれがある。

火災によって有毒及び腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

安全取扱注意事項

使用前に技術データシートを注意深く読むこと。

保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。遮光、4℃で保存すること。

安全な容器包装材料

他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(アジ化ナトリウム)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 (アジ化ナトリウムとして) 0.29mg/m³; (アジ化水素酸の蒸気として) 0.11

- ppm (心臓損傷; 肺障害)
- ばく露防止
- 設備対策
 - 適切な換気のある場所で取扱う。
- 保護具
 - 呼吸用保護具
 - 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
 - 手の保護具
 - 保護手袋を着用する。(ニトリルまたはネオプレン推奨)
 - 眼の保護具
 - 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。
 - 皮膚及び身体の保護具
 - 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態：固体(ポリスチレンビーズ)を含む液体
- 色：濁っている
- 臭い：データなし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲：100℃
- 可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
- 爆発限界及び爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
- 引火点：データなし
- 自然発火点：データなし
- 分解温度：データなし
- pH：データなし
- 動粘性率：データなし
- 蒸気圧：データなし
- 密度及び/又は相対密度：データなし
- 相対ガス密度(空気=1)：データなし
- 粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性
 - データなし
- 化学的安定性
 - 通常取り扱い条件において安定である。
- 危険有害反応可能性
 - データなし
- 避けるべき条件
 - 光、熱
- 混触危険物質
 - 強酸化性物質、塩基
- 危険有害な分解生成物
 - 炭素酸化物、窒素酸化物

11. 有害性情報

- 急性毒性
 - 急性毒性(経口)
 - [日本公表根拠データ]
 - (アジ化ナトリウム)
 - rat LD50=45mg/kg (DFGOT vol.20, 2003)
 - 急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
rabbit LD50=20mg/kg (ACGIH, 2001)
労働基準法: 疾病化学物質
アジ化ナトリウム

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
ラビット 腐食性 (DFGOT vol.20, 2003)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
皮膚腐食性 区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし

発がん性
(アジ化ナトリウム)
ACGIH-A4(1992)：ヒト発がん性因子として分類できない
(ポリスチレン)
IARC-Gr.3：ヒトに対する発がん性については分類できない

催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露)：データなし
誤えん有害性：データなし
その他の情報：この製品の毒物学的性質は完全には調査されていない。
吸入、皮膚吸収：有害のおそれ、上気道・粘膜に刺激のおそれがある。
皮膚、眼との接触：皮膚刺激、眼刺激のおそれがある。
飲み込むと有害のおそれがある。
環境に有害のおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性：生態毒性学的特性は完全には調査されていない。物質の量に応じて環境に有害な可能性がある。
水生環境有害性
水生環境有害性 短期(急性) 成分データ
[日本公表根拠データ]
(アジ化ナトリウム)
藻類 (Pseudokirchneriellasubcapitata) ErC50=0.348mg/L/96hr (Aquire, 2010)

水溶解度
(アジ化ナトリウム)
よく溶ける (41.7 g/100 ml, 17°C) (ICSC, 2014)

残留性・分解性
(アジ化ナトリウム)
直接測定(HPLC)による分解度：1% (既存点検)

生体蓄積性
(アジ化ナトリウム)
log Pow ≤ 0.3 (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。